

健やか親子表彰 —最優秀賞—

認定特定非営利活動法人キープ・ママ・スマイリング

「一食・一箱の支援」で、子どもの入院に付き添う家族に寄り添って10年  
～大規模な実態調査を実施し、付き添う家族の声を国へ届ける

活動の目的

入院している子どもとその家族が笑顔で向き合える社会を目指し、付き添い家族の生活環境の改善を目的に活動しています。「子どもの早期回復には、付き添う親が健康で笑顔であることが大切」、これが活動の核となる考えです。

具体的な取組内容

付き添い者へ「もの・食・情報」による支援

●ミールdeスマイリング（食支援）事業

毎月、付き添い家族へ手作りの食事や地域の飲食店のお弁当を届ける「食支援」活動



●付き添い生活応援パック無償配布事業

コロナ禍で付き添い環境が悪化した家族への生活支援を目的に2020年10月に開始。長期間泊まり込み付き添うご家族へ支援物資を無償提供。届ける商品の多くは企業からの寄付。企業からの応援メッセージを同梱し「あなたは一人じゃないよ」の思いを込めて日々全国に発送しています。



●国への要望書提出

2023年6月1日、「付き添い生活実態調査」に基づく要望書を調査結果とともにこども家庭庁と厚生労働省に提出。同日、記者会見を実施したところ、新聞、テレビなど200回以上の報道数となりました。



私たちが目指す世界

私たちが大切にしているのは、「病気の子どもやきょうだいが、いつでも親と一緒に過ごせる入院環境を保障されていること」です。それは子どもの大切な権利であり、親が付き添うことが回復や成長・発達に重要だと考えるからです。「付き添う/付き添わない」が選べることを前に、親が健康を損なわず、経済的な負担も少なく安心して付き添え、付き添えない場合は安心して医療者に任せられ、親子がいつでも触れ合える世界を目指しています。



健やか親子21表彰 最優秀賞

受賞者の声 担当者: 白木 美和子

●取組を始めた経緯は何ですか？

理事長の光原は先天性疾患のある長女・次女を出産し、長期にわたり6つの病院で付き添い入院を経験しました。過酷な付き添い環境の中、自身が体調を崩し倒れ、周囲にも同様に心身を病む親がいることを知り、次女の急逝後に団体を設立。付き添い家族への直接支援活動を始めました。



●具体的にどのように取組の普及を工夫しましたか？

アンケートを通じて付き添う家族の困りごとを丁寧に掘り上げた上で支援活動を設計し、また、支援内容の満足度が高まるよう柔軟に対応しています。また、付き添い入院という社会課題の認知拡大を目的とした啓発イベントも毎年実施し、メディアへの広報にも力を入れてきました。

●取り組む中で苦労したこと、大変だったことは？

院内で付き添う家族への支援は、支援の広報やベッドサイドまでの物資お届けに病棟スタッフのご協力が欠かせません。ただ、郵送物受け取り禁止等の理由で支援をお届けできない事例も少数ながら存在します。医療現場の皆さまに支援活動を受け入れていただく関係性の構築が大切です。

●取り組む中で苦労したこと、大変だったことに対して、どのように乗り越えたか

支援内容と配布実績、受け取ったご家族の喜びの声など「付き添うご家族の現状と支援の必要性・効果」を丁寧にご説明すると同時に、医療機関側の困りごとや支援受け入れに対する課題を伺い、付き添い家族への支援をどのような形で届けられるのかについて個別に対話を重ねます。

●今後の展望・課題は？

当事者の声を国はしっかり受け止め、付き添い環境改善に向けて国が動き、病院にバトンが渡されました。現状が本当によりよくなったと実感できるまで、これからも付き添う家族に寄り添い声を聞き、小児医療関係者と連携しながらNPOとして出来る支援活動に尽力してまいります。

評価委員からのコメント

病気の子供に付き添うのは親として当然、多少付き添いの環境が悪くても我慢しなければならない。病児の付き添いのために小児病棟で過ごさなければならない親御さんたちはそんなふうを考えていたと思います。でも頭ではわかっている、小児病棟の付き添いは非常にストレスのかかること。ただでさえお子さんの病気について心配なのに…。これまで公になってこなかった社会課題に10年前から取り組み、支援を行ってこられたことについて敬意を表します。またさらに地域や他の支援団体との連携、企業の参加など、どんどん活動の輪を広げ、そうした活動の成果をこども家庭庁・厚生労働省が受け止め、診療報酬改定に繋がられたことは素晴らしいですね。病気の子供達も家族と一緒に過ごす権利がある、この当たり前のことがより良い環境のもと実践していけるように、今後も期待しています。この度は受賞おめでとうございます。

健やか親子21推進本部副会長/日本医科大学付属病院 女性診療科・産科 川端 伊久乃